

令和7年度 第1回 JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：令和7年6月13日（金）14：00～14：30

場 所：東京蒲田医療センター 健康管理棟2階大会議室

出席者：小倉委員代理 （大田区保健所災害・地域医療担当課長）

松本委員代理 （大田区保健所感染症対策課副参事）

宮島委員 （テクノポートクリニック院長）

小泉委員 （大田区立特別養護老人ホーム蒲田施設長）

薄井委員 （岩井機械工業株式会社専務取締役）

田中委員 （南蒲田二丁目町内会町会長）

（JCHO 東京蒲田医療センター）

田村委員、宮澤委員、坂田委員、永井委員、開沼委員、井澤委員、岡村委員、

圓館委員、土屋委員（書記）

【議事内容】

1. 院長就任の挨拶

田村院長より院長就任の挨拶を行った。

2. 令和7年度 出席者挨拶

出席者がそれぞれ挨拶を行った。

3. 令和6年度の実績報告

圓館委員より資料に基づき、下記事項について報告を行った。

1) 令和6年度実績

① 一日平均入院患者数

昨年度の平均入院患者数は166.3人、8月は196.2人まで増加した。

② 一日平均外来患者数

例年と大きな変化なく、外来平均患者数は308.9人であった。

③ 救急搬送患者数

年間2,000件以上を目標にしており、年間総数2,126件、月平均177件であった。

④ 手術件数

手術件数は1,326件、月平均110件であった。

⑤ 紹介患者受入件数

紹介患者受け入れ件数4,458件、月平均372件であった。（2024年度より409件増）

⑥ 主な紹介元医療機関

東邦大学とは引き続き密に連携している。資料には、昨年度50件以上紹介があった医療機関（過去2年分）の紹介件数を記載した。

⑦ 健康管理センター受診者件数

昨年度の総受健者数は 25,973 件、過去 2 年間は不変であるが、年々減少傾向にある。

2) 活動実績

① 地域住民への教育活動

2024 年度の区民公開講座は、3 ヶ月毎の定期開催とし、計 4 回実施した。

2025 年度も定期開催を予定し、第一回は 6 月 14 日（土）の予定である。

他にも、健康管理センター主催の講座を 7 月 4 日（金）に予定している。

② 介護施設との連携

当院の協力対象施設に特別養護老人ホーム羽田が加わり、計 5 カ所になった。

今年度は院長、看護部長が介護施設を訪問し、今後も協力対象施設を増やしていく方針である。

③ 介護支援

嚥下（えんげ）検査、レスパイト入院のご紹介、大田区緊急医療ショートステイ事業の継続支援について説明した。

④ その他

今年度は地域住民との交流をさらに深めていきたいと考えている。

町会のイベントなどにも積極的に協力したい。

4. 外部委員との意見交換

（田村委員）

診療とは別なことになるが、町会のイベントで当院の敷地を利用し、地域の方々と集まれる機会があれば良いと思う。例えば、町会のお祭りで、当院を御神輿の休憩所にすれば、人が集まる華やかな雰囲気を入院患者にも味わってもらえるのではないか。他にも当院の敷地内にキッチンカーを置くなど、近隣住民が気軽に立ち寄っていただける病院になればと思っています。

（薄井委員）

そうですね。色々な病院の建物を見てきて、ここ蒲田の特徴は塀に囲まれてないことです。田村先生のアイデアのようにオープンスペースを上手く使えば、色々なイベントができると思う。セキュリティやリスク管理には気をつけてください。

（圓館委員）

ご意見ありがとうございます。当部署には皮膚排泄ケア、緩和ケア、認知症看護など、看護の専門家が多数所属しております。地域住民の教育活動などに是非ご活用下さい。また当院は、介護施設との連携を積極的にすすめております。連携先の施設につきましては、感染管理認定看護師である林師長が、感染管理と職員教育を定期的に行っております。今後も様々な案件で認定看護師をご活用いただければと思います。

(開沼委員)

認定看護師以外の人材についても活用していただきたい。高齢化が進んでいますので、例えば理学療法士や言語聴覚士が簡単なリハビリをする、管理栄養士が栄養相談を受けるなど。様々な場面でお手伝いできると思いますので、是非お声かけ下さい。

(小泉委員)

当施設（特別養護老人ホーム蒲田）は、林師長にみてもらうようになり、基本的な事から現場に即した指導をしていただき心強いです。今後もそういった視点で医療的な見知からご助言いただければ嬉しいです。

(松本委員代理)

地域の人材育成で臨床医を受けいれてくださりありがとうございます。私自身は、大田区内の施設に入り各施設の感染対策と一緒に考えています。何かあれば、保健所でも対応しますので、ご連絡していただければと思います。

(小倉委員代理)

災害地域医療、緊急医療救護に関わっております。前回の救護所訓練には、町会の皆様に多数ご参加いただき感謝しております。今年度も救護所訓練を予定しております。病院や近隣の皆様とともに勉強しながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(宮島委員)

当院に通院する患者様は、やはり近くの病院がいいという方が多く、貴院と連携がとれるのはありがたく思っています。17 時以降も MRI の予約が可能になったので、使わせていただいています。

(田中委員)

父親が入院して、看護師の大変さ、介護士の大変さ、細かい神経を使って対応しているのを間近でみました。その人たちが、町会の盆踊りなどに参加してリフレッシュしてほしい。職員の方々が心安らげる場所を地域が担っていけるのかなと思っている。町で何か欲しい情報があれば、聞いて下さい。盆踊りや御神輿を合同でやることもできますので、よろしくお願いいたします。

(坂田委員)

入院してリハビリに励んでいる方やなかなか退院できない方は、御神輿を見るだけでも、社会との接点が増える機会になると思います。ありがたい申し出であり、田村先生が話した地域との垣根をなくすことと、今後の期待につながると思う。私は去年の 7 月に転任してきて、元々は大学病院にいました。蒲田は 220 床ほどでそんなに大きい病院ではないけれど、圓館委員がおっしゃったように資格を持っている方や中身がしっかりしている方が多いとつ

くづく感じている。資格がある人がもう少し外へ出て行けば、ちょっとずつ顔が見えてよいのではと思う。救急車は、年間 2000 台を目標にしています。宮島先生が外来以外の時間帯でも、ご相談ください。病院として疾病に応じた受け入れができますし、コロナ感染対策もちゃんとしております。お待たせがあるかもしれませんが、JCHO は変わってきております。また職員も一人一人がすごく熱心で、色んな人の色々なエッセンスがあって、いいことをやってくださっている。自分は不勉強なところが多いので、いろいろ教えてもらいながらやっております。皆様と南蒲田という地域でつながりがある病院になっていければいいなと思います。

(圓館委員)

次回の開催日について、第 3 金曜日は町内会の役員総会と重なることが続いているため、12 月 12 日（第 2 金曜日）で調整させていただきます。

以上